

福岡県設計・調査等委託業務 成績評定要領について

平成18年6月16日

18管第2102号

総務部長依命通達

本庁各部各課（室）長
警 察 本 部 長
教 育 長
各委員会（委員）事務局長
県 議 会 事 務 局 長
各 出 先 機 関 の 長

このことについて、福岡県が発注する設計・調査等の委託業務について、成績評定を行うことにより、受注業者のより真摯な取り組みを促し、当該業務の円滑な進捗並びに成果品の品質確保を図るとともに、この成績評定データを蓄積した上で、適正な業者選定への活用を図るため、「福岡県設計・調査等委託業務成績評定要領」を定め、成績評定を実施することといたしましたので、内容を十分に理解の上、事務処理に遺漏のないよう願います。

上記のとおり命により通達します。

福岡県設計・調査等委託業務成績評定要領

平成18年6月16日 18管第2102号

(趣旨)

第1条 この要領は、福岡県が発注する設計・調査等委託業務の成績評定（以下「評定」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(評定の対象)

第2条 評定の対象は、1件の委託金額が250万円を超える次に掲げる委託業務のうち建設工事に係るもの（以下「業務」という。）とする。

- (1) 設計業務（建築工事及び設備工事に係るものを除く。）
- (2) 調査業務及び計画業務
- (3) 測量業務（用地測量を含む。）、地質調査業務及び単純調査業務（調査業務及び計画業務のうち簡単なものをいう。）

(評定の内容)

第3条 評定は、業務の実施状況及び目的物の品質等について行うものとする。

(評定者)

第4条 評定を行うもの（以下「評定者」という。）は、次の各号のいずれかに定めるところによるものとする。

- (1) 当該業務の契約を担当する所属の長（以下「所属長」という。）及び福岡県財務規則（昭和39年福岡県規則第23号）第177条に規定する当該業務の検査員（以下「検査員」という。）
- (2) 所属長が指定する者

(評定の方法)

第5条 評定は、別記考査基準に基づき業務ごと、評定者ごとに独立して的確かつ公正に行うものとする。

- 2 評定の結果は、委託業務成績評定表（様式第1号。以下「評定表」という。）に記載するものとする。
- 3 評定方法の詳細については、各発注部において別に定めるものとする。

(評定の時期)

第6条 検査員である評定者は検査を実施したときに、その他の評定者は業務が完了したときに、それぞれ評定を行うものとする。

(評定結果等の提出)

第7条 評定者は、評定を終了したときは、速やかに、委託業務成績評定結果提出書（様式第2号）により、添付書類とともに所属長に提出するものとする。

(評定の結果の通知)

第8条 所属長は、評定者から評定結果の提出があったときは、速やかに、当該業務の受託者に対して、委託業務成績評定通知書（様式第3号）により評定の結果を通知するものとする。

(説明請求等)

第9条 前条の規定により通知を受けた者は、通知を受けた日の翌日から10日間（福岡県の休日（平成元年福岡県条例第23号）第1条に規定する休日（以下「県の休日」という。）を除く。）、書面により、通知を行った所属長に対して評定の内容について説明を求めることができる。

2 所属長は、前項の規定により説明を求められたときは、同項の期間の末日の翌日から起算して10日以内（県の休日を除く。）に、書面により回答するものとする。

附 則

この要領は、平成18年7月1日から施行する。

委託業務成績評定表

年 月 日

所属名

委託業務名	業務								
契約金額	¥								
履行期間	年 月 日～ 年 月 日								
完了年月日	年 月 日				年 月 日				
完了検査年月日	年 月 日				年 月 日				
契約相手方住所氏名	住所：								
	氏名：								
管理技術者氏名									
照査技術者氏名									
担当技術者氏名①									
担当技術者氏名②									
担当技術者氏名③									
調査職員所属・氏名									
主任調査職員所属・氏名									
検査員所属・氏名									
評価項目		調査職員 評定点 ①	主任調査職員 評定点 ③	検査員 評定点 ⑤	業務評定⑦ (注1)	技術者評定			
						管理技術者	担当技術者	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力		—	—	①×10/10			—	
	業務執行技術力				①×1/10+③× 5/10+⑤×4/10			—	
	施工時の配慮 (注2)	概略設計、予備設計		—	—	①×10/10			—
		詳細設計		—	—	①×10/10			—
	コスト把握能力(注2)		—	—	①×10/10			—	
管理技術力	工程管理能力		—	—	①×10/10		—	—	
	品質管理能力		—	—	①×10/10		—	—	
	迅速性、弾力性、調整能力		—	—	①×10/10		—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性		—		①×1/10+ ⑤×9/10			—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観			—	①×1/10+ ③×9/10			—	
成果品の品質			—		①×1/10+ ⑤×9/10				
⑨ 小計		—	—	—	—				
⑩ = ⑦ の評定点の加重平均点(注3)		—	—	—	—				
⑪ 事故等による減点		—	—	—	—				
⑫ 瑕疵修補又は損害賠償による減点		—	—	—	—				
⑬ 総合評定点 = ⑩ + ⑪ + ⑫		—	—	—	—				
所見 (右欄は手書きがよい)	調査職員	主任調査職員			検査員				

注) 1. 各評価項目の「⑦業務評定」は小数第一位までとする。

2. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は設計業務のみ評定の対象とする。

3. 「⑩=⑦の評定点の加重平均点」は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

様式第2号（第7条関係）

年 月 日 起案

年 月 日 決裁

委託業務成績評定結果提出書

所属長 殿

年 月 日

印

年度

起工番号

委託業務名

業 務

業務箇所

委託業者

委託金額

円

上記委託業務について、福岡県設計・調査等委託業務成績評定要領に基づき評定した結果を別紙のとおり提出します。

添付書類

（完 成）

- 委託業務成績評定表（様式第1号）
- 集計表
- 採点表

なお、決裁の上は委託業務成績評定通知書（様式第3号）及び項目別評定点（別表）により業者あて通知してよろしいか伺います。

殿

所属長 印

委託業務成績評定通知書

貴社（殿）が受注した業務について、福岡県設計・調査等委託業務成績評定要領に基づき評定した結果を通知します。

なお、評定の結果に疑問があるときは、この通知を受けた日の翌日から10日間（県の休日を除く。）、疑問の内容を記入した書面により説明を求めることができます。

疑問に対する説明は、書面により回答します。

なお、説明を求める場合の書面の送付先及び手続等についての問い合わせ先は、下記のとおりです。

記

- 1 起工番号
- 2 委託業務名 業 務
- 3 履行期間 年 月 日 ～ 年 月 日
- 4 完了検査年月日 年 月 日
- 5 成績評定 点 項目別評定点は別表のとおり
- 6 送付先及び問い合わせ先
住 所
所 属 名
電 話 番 号

別表

項目別評定点

評価項目	評価の視点		業務評定 (評定点 / 満点)	技術者評定		
				管理技術者、 主任技術者 (評定点 / 満点)	担当技術者 (評定点 / 満点)	照査技術者 (評定点 / 満点)
専門技術力	提案力、改善力		/	/	/	—
	業務執行技術力		/	/	/	—
	施工時 への配 慮	イ. 概略設計、 予備設計	/	/	/	—
		ロ. 詳細設計	/	/	/	—
	コスト把握能力		/	/	/	—
管理技術力	工程管理能力		/	/	—	—
	品質管 理能力	イ. 概略設計、 予備設計	/	/	—	/
		ロ. 詳細設計	/	/	—	/
	迅速性、弾力性、 調整能力		/	/	—	—
コミュニケーション力	説得力、プレゼンテー ション力、協調性		/	/	/	—
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観		/	/	/	—
成果品の品質			/	/	/	/
計			/	/	/	/
評定点の加重平均点						
事故等による減点						
瑕疵修補又は損害賠償による減点						
総合評定点 (注2)			/100	/100	/100	/100

(注)

1. イ又はロのいずれかを評定する。
2. 総合評定点は、評価の視点毎の重み付けを考慮した加重平均点である。

考 査 基 準

1. 主任調査職員考査基準

（1）考査方法

主任調査職員は、評定趣旨を十分に理解し尊重した上で、それぞれ総合的に評定を行う。

（2）評定点範囲

採点表（主任調査職員用）の該当評価項目について、それぞれ総合的に判断して評定するものとする。

（3）事故等による減点

当該業務遂行中に受託者に起因する事故等が発生し指名停止等の措置を行った場合には、当該業務の総合評定点（100点満点換算）に対して、別表－1を参考として－15点まで減点することができる。また、総合評点が採用された後に指名停止等の措置を行った場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表－1 受託者に起因する事故等が発生した場合の減点基準

区 分	口頭注意	文書注意	指名停止 1ヶ月まで	指名停止が1 ヶ月を超える
考 査 点	－3点	－5点	－10点	－15点

[適応事例]

- ・入札前に提出した当該業務の技術提案書等が虚偽であった事実が判明した。
- ・発注者の承諾なしに当該業務に関する権利義務、成果物を第三者に譲渡又は承継、公開した。
- ・産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。
- ・一括再委託、請負を行った。
- ・打ち合わせ協議または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。
- ・当該業務において過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。
- ・当該業務において安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた業務関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。

・その他（理由：）

（４）瑕疵修補及び損害賠償による減点

成果品に、受託者の責任に起因する瑕疵が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合には、当該業務の総合評定点（１００点満点換算）に対して、別表－２を参考として－２０点まで減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。また、総合評点が採点された後に当該事象が発生した場合は、遡って減点を実施するものとする。

別表－２ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により 瑕疵修補又は損害賠償の実施
審査点	－１０点	－２０点

２．調査職員及び検査員審査基準

評定にあたっては、当該業務の履行状況に応じ、加減点要素の各項目に従って、評定を行うものとする。（評価項目の追加、削除、もしくは評価比重の変更は行わない）

３．対象業務が複数の業務にまたがる場合の取扱い

対象業務が、「設計業務」、「調査業務及び計画業務」、「測量業務、地質調査及び単純調査業務」のうちの複数の業務にまたがる場合においては、業務の目的、金額を勘案し、原則として主たる業務の審査をもって評定点とみなすものとする。

ここで、「設計業務」、「調査業務及び計画業務」、「測量業務、地質調査及び単純調査業務」の３者のうちの複数の業務にまたがる場合の「主たる業務」の取り扱いについては、以下を参考とされたい。

- ・「設計業務」、「調査業務及び計画業務」、「測量業務、地質調査及び単純調査業務」対象部分のどれかが２５０万円を超えるときには、その業務を「主たる業務」とみなすものとする。
- ・「設計業務」、「調査業務及び計画業務」、「測量業務、地質調査及び単純調査業務」対象部分の複数が２５０万円を超えるとき、もしくはどれもが２５０万円を超えない場合に

は、業務の目的、金額を勘案して、「主たる業務」を1つ選定するものとする。

これらの取扱いは、調査職員及び検査員で統一するものとする。

4. 「単純調査業務」について

「調査業務及び計画業務」は、広範かつ高度な専門的知識が要求される業務や高度な技術と豊かな経験が要求される業務といった比較的難易度の高い調査業務に対応するものであるため、これについては「調査業務及び計画業務」採点表を使用するものとする。しかしながら、この採点表を使用する「設計業務共通仕様書」に規定する業務には、高度な技術力をそれほど必要としない単純なデータ処理業務や資料収集・整理業務等も含まれることから、これを「単純調査業務」と定義し、「測量業務、地質調査及び単純調査業務」採点表を用いて評定するものとする。なお、「単純調査業務」の対象業務については、以下に示す例を参考とされたい。

・「単純調査業務」の例

各部門共通	単純なデータ収集整理業務 単純なデータ処理業務 書類編集的な業務 文献収集業務
河川、砂防及び海岸	水理・水文観測業務 データ加工業務（降雨解析等） 不等流計算等の計算業務（システム開発を除く） 補償数量の算出 工事記録等資料の分類・整理 工事図面集、写真集等の作成
道路	一般的な現地踏査 一般的な交通量観測業務 台帳整理等を目的とした資料収集業務
トンネル	クラック等変状の計測調査
施工計画及び施工設備 情報	施工関連資料の収集整理 定期的なデータメンテナンス 資料収集的な業務

単純なデータ作成のみの業務

防災

資料収集的な業務

環境

大気汚染、水質汚濁、騒音、振動等調査・分析方法がJIS等で規定されている測定業務

5. 採点表の選定について

対象業務が複数にまたがる場合の取り扱いや単純調査業務の選定は、調査職員が決定する。

6. 技術者の評定について

各技術者の評定点は、業務に対する評定点のうち、以下の評価項目を抽出し、7. の重み付けを考慮して付加する。

評価項目		管理技術者	担当技術者	照査技術者	
専門技術力	提案力、改善力	○	○	—	
	業務執行技術力	○	○	—	
	施工時への配慮（注1）	概略設計、予備設計	○	○	—
		詳細設計	○	○	—
	コスト把握能力（注1）	○	○	—	
管理技術力	工程管理能力	○	—	—	
	品質管理能力	○	—	○	
	迅速性、弾力性、調整能力	○	—	—	
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	○	○	—	
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	○	○	—	
成果品の品質		○	○	○	

（注） 1. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。

7. 総合評定点について

総合評定点を算出する際には、対象業務に応じて各評価項目ごとに以下の重み付けを考慮する。

評価項目		設計業務				調査業務及び計画業務				測量業務、地質調査 及び単純調査業務				
		業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			業務 評定	技術者評定			
			管理	担当	照査		管理	担当	照査		管理	担当	照査	
専 門 技 術 力	提案力、改善力	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
	業務遂行技術力	4	4	4	—	4	4	4	—	4	4	4	—	
	施工時 への 配慮 (注1)	概略設計、 予備設計 (注2)	1 (注2)	1 (注2)	1 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		詳細設計 (注2)	1 (注2)	1 (注2)	1 (注2)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コスト把握能力 (注1)	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
管 理 技 術 力	工程管理能力	2	2	—	—	2	2	—	—	2	2	—	—	
	品質管理能力	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	2	
	迅速性、弾力性、 調整能力	1	1	—	—	1	1	—	—	1	1	—	—	
コミュニケ ーション力	説明力、プレゼンテ ーション力、協調性	1	1	1	—	1	1	1	—	1	1	1	—	
取組姿勢	責任感、積極性、 倫理観	2	2	2	—	2	2	2	—	2	2	2	—	
成果品の品質		8	8	5	1	7	7	4	1	7	7	4	1	
合計		24 (100%)	24 (100%)	16 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	21 (100%)	21 (100%)	13 (100%)	3 (100%)	

- 注) 1. 「施工時への配慮」及び「コスト把握能力」は、設計業務のみ評定の対象とする。
また、「施工時への配慮」は、「概略設計・予備設計」もしくは「詳細設計」いずれかを選択する。
2. 該当時のみ対象とする。

8. 業務評定項目

評価項目		評価の視点	(1)設計業務				(2)調査業務及び計画業務				(3)測量業務、地質調査及び単純調査業務				
			調査職員	主任調査職員	検査員	評定点	調査職員	主任調査職員	検査員	評定点	調査職員	主任調査職員	検査員	評定点	
プロセス評価	専門技術力	提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	○				○				○			
			業務遂行段階における提案	○			⑦=①×10/10	○			⑦=①×10/10	○			⑦=①×10/10
			業務遂行上必要となる課題の提案	○				○				○			
			業務内容等改善の提案	○				○				○			
		小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	
	業務執行技術力	目的と内容の理解	○				○				○				
		必要情報の把握	○			⑦=①×1/10 +③×5/10 +⑤×4/10	○			⑦=①×1/10 +③×5/10 +⑤×4/10	○			⑦=①×1/10 +③×5/10 +⑤×4/10	
		検討項目、検討手法	○	○	○		○	○	○		○	○	○		
		打ち合わせ資料の内容	○				○				○				
	十分な技術力	○				○				○					
	小計	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦	①100点満点	③100点満点	⑤100点満点	⑦		
	施工時への配慮 (設計時評価、 設計業務を対象に 評価する。 イ、ロのいずれか を選択する。)	イ.『概略設計、 予備設計』 の場合	施工に関する一般的な知識	△											
			施工条件等の把握	△			⑦= ①×10/10								
		ロ.『詳細設計』 の場合	施工に関する一般的な知識	△											
			施工条件等の把握 施工計画 (施工方法、仮設備計画)	△			⑦= ①×10/10								
小計	①100点満点			⑦											
コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	コスト把握能力	△			⑦= ①×10/10										
	小計	①100点満点			⑦										
管理技術力	工程管理能力	実施手順、工程計画	○				○				○				
		実施体制	○			⑦= ①×10/10	○			⑦= ①×10/10	○		⑦= ①×10/10		
		打合せ内容の理解、記録	○				○				○				
		工程管理	○				○				○				
	小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦		
	品質管理能力	ミス防止の実施	○			⑦= ①×10/10	○			⑦= ①×10/10	○			⑦= ①×10/10	
小計		①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦		
迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	○				○				○					
	関連事業者間の調整	○			⑦= ①×10/10	○			⑦= ①×10/10	○			⑦= ①×10/10		
	地元住民との合意形成	○				○				○					
小計	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦	①100点満点			⑦			
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション (資料)	○				○				○				
		理解しやすい説明・プレゼンテーション (対応)	○		○	⑦= ①×1/10 +⑤×9/10	○		○	⑦= ①×1/10 +⑤×9/10	○		⑦= ①×1/10 +⑤×9/10		
		説明を補う努力	○				○				○				
		円滑な業務遂行への努力	○				○				○				
小計	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	○				○				○				
		責任感、積極性、倫理観		○		⑦=①×1/10 +③×9/10		○		⑦=①×1/10 +③×9/10		○	⑦=①×1/10 +③×9/10		
小計	①100点満点	③100点満点		⑦	①100点満点	③100点満点		⑦	①100点満点	③100点満点		⑦			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	○				○				○				
		的確なとりまとめ	○			⑦=①×1/10 +⑤×9/10	○			⑦=①×1/10 +⑤×9/10	○		⑦=①×1/10 +⑤×9/10		
		ミスの有無	○				○				○				
	小計	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦	①100点満点		⑤100点満点	⑦		
総合評定点の算定		⑦の評定点の加重平均点→			⑩	⑦の評定点の加重平均点→			⑩	⑦の評定点の加重平均点→			⑩		
		事故等による減点			⑪	事故等による減点			⑪	事故等による減点			⑪		
		暇疵修補又は損害賠償による減点			⑫	暇疵修補又は損害賠償による減点			⑫	暇疵修補又は損害賠償による減点			⑫		
		総合評定点			⑬=⑩ +⑪+⑫	総合評定点			⑬=⑩ +⑪+⑫	総合評定点			⑬=⑩ +⑪+⑫		

注)1. 各評価項目の「⑦業務評定」は小数第一位までとする。
2. 「⑦の評定点の加重平均点」は、小数第一位を四捨五入し整数とする。

○は、必須評定項目。
△は、選択評価項目。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目																																										
			優 標 劣																																																
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2																																												
提案力、改善力	事業着手段階における業務特性等の考慮	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。(注) 																																										
	業務遂行段階における提案	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注) 																																										
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。 																																										
	業務内容等改善の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 																																										
	小計	100						①																																											
プロセス評価 専門技術力 業務執行技術力	目的と内容の理解	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チェック数</th> <th colspan="5">細目数</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>						チェック数	細目数					4	3	2	1	0	4	1.0					3	0.8	0.8				2	0.6	0.6	0.8			1	0.4	0.4	0.6	0.8		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6		<ul style="list-style-type: none"> 業務計画書に必要事項が記載されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
	チェック数	細目数																																																	
		4	3	2	1	0																																													
	4	1.0																																																	
	3	0.8	0.8																																																
	2	0.6	0.6	0.8																																															
	1	0.4	0.4	0.6	0.8																																														
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6																																														
必要情報の把握	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チェック数</th> <th colspan="5">細目数</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>						チェック数	細目数					4	3	2	1	0	4	1.0					3	0.8	0.8				2	0.6	0.6	0.8			1	0.4	0.4	0.6	0.8		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6		<ul style="list-style-type: none"> 業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。 	
チェック数	細目数																																																		
	4	3	2	1	0																																														
4	1.0																																																		
3	0.8	0.8																																																	
2	0.6	0.6	0.8																																																
1	0.4	0.4	0.6	0.8																																															
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6																																														
検討項目、検討手法	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チェック数</th> <th colspan="5">細目数</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>						チェック数	細目数					4	3	2	1	0	4	1.0					3	0.8	0.8				2	0.6	0.6	0.8			1	0.4	0.4	0.6	0.8		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6		<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注) 	
チェック数	細目数																																																		
	4	3	2	1	0																																														
4	1.0																																																		
3	0.8	0.8																																																	
2	0.6	0.6	0.8																																																
1	0.4	0.4	0.6	0.8																																															
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6																																														
打ち合わせ資料の内容	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チェック数</th> <th colspan="5">細目数</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>						チェック数	細目数					4	3	2	1	0	4	1.0					3	0.8	0.8				2	0.6	0.6	0.8			1	0.4	0.4	0.6	0.8		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6		<ul style="list-style-type: none"> 打ち合わせ資料に、大きなミスがなかった 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。(注) 	
チェック数	細目数																																																		
	4	3	2	1	0																																														
4	1.0																																																		
3	0.8	0.8																																																	
2	0.6	0.6	0.8																																																
1	0.4	0.4	0.6	0.8																																															
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6																																														
十分な技術力	20	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">チェック数</th> <th colspan="5">細目数</th> </tr> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.8</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.2</td> <td>0.2</td> <td>0.4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table>						チェック数	細目数					4	3	2	1	0	4	1.0					3	0.8	0.8				2	0.6	0.6	0.8			1	0.4	0.4	0.6	0.8		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6		<ul style="list-style-type: none"> 業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注) 	
チェック数	細目数																																																		
	4	3	2	1	0																																														
4	1.0																																																		
3	0.8	0.8																																																	
2	0.6	0.6	0.8																																																
1	0.4	0.4	0.6	0.8																																															
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6																																														
小計	100						①																																												

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価 専門技術力 施工時への配慮 [設計時評価]	<input type="checkbox"/> ← 入力OK? イ 『概略設計・予備設計』の場合 施工に関する一般的な知識	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					①	<input type="checkbox"/> ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			小計	100	①				
	<input type="checkbox"/> ← 入力OK? ロ 『詳細設計』の場合 施工に関する一般的な知識	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					①	<input type="checkbox"/> ・設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。 <input type="checkbox"/> ・施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
			評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・当該地域の環境特性を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。 <input type="checkbox"/> ・契約図書及び発注者に指示された施工に係わる関係機関等の情報を把握した。
			評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・必要事項を記載した施工計画書が提案された。 <input type="checkbox"/> ・施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。 <input type="checkbox"/> ・当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。
			小計	100	①				
	コスト把握能力 (設計業務を対象に評定する。)	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					①	<input type="checkbox"/> ・工事費に関するコスト把握能力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。 <input type="checkbox"/> ・コスト縮減に係わる提案があった。 <input type="checkbox"/> ・ライフサイクルコストや新技術・新工法等の総合的なコストを念頭においたコスト縮減に係わる提案があった。
			小計	100	①				

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			優 標 劣								
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価 管理技術力	工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<input type="checkbox"/> ・契約締結後7日以内に業務工程表が提出され、速やかに業務着手がなされた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針及び業務工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針又は詳細な程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> ・作業(調査、検討、設計)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。		
		実施体制	10	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が遂行された。 <input type="checkbox"/> ・配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。	
		打合せ内容の 理解、記録	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」							<input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> ・打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が的確に整理されていた。 <input type="checkbox"/> ・受注者内で意思疎通がなされ、指示や打合せ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・打合せ時に不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された。
		工程管理	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」							
		小計	100	①							
品質管理 能力	品質管理 能力	<input type="checkbox"/> ← 入力OK? <input type="checkbox"/> イ 『概略設計・予備設計』 ミス防止の 実施		評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」					<input type="checkbox"/> ・チェック方法に努力と工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)		
		小計	100	①							
		<input type="checkbox"/> ← 入力OK? <input type="checkbox"/> ロ 『詳細設計』の 場合 ミス防止の 実施		評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<input type="checkbox"/> ・業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務計画書等に記載の照査担当者による照査が実施されたことが確認できた。 <input type="checkbox"/> ・チェック方法に努力と工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)		
小計	100	①									

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・その結果生じた検討内容が特に優れていた。	
		関連事業者間の調整	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良く取りまとめられていた。	
		地元住民との合意形成	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・発注者からの指示あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民との合意形成(円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む)に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> ・作成された資料の内容が特に良く取りまとめられていた。	
		小計	100					①	
プロセス評価	説明力、プレゼンテーション力、協調性	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。	
		理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・質問に対しい確な回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。	
		説明を補う努力	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・他のメンバーによる補足説明も含め、説明が十分になされた。 <input type="checkbox"/> ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。	
		円滑な業務遂行への努力【加点評価】	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。	
		小計	100					①	

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	取組姿勢 責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた、もしくはトラブル等が発生した場合、迅速な対応が積極的になされた。 	
		小計	100	①						
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注) 	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						
		小計	100	①						

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
	小計	100	③						
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
	小計	100	③						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目			
			標準									
			優	標準	劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2					
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	検討項目、 検討手法	50	細目数						<ul style="list-style-type: none"> 検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注) 		
				4 3 2 1 0								
				チェック数	4	1.0						
					3	0.8	0.8					
					2	0.6	0.6	0.8				
		1	0.4	0.4	0.6	0.8						
		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6					
	細目数											
	4 3 2 1 0											
	チェック数	4	1.0									
	3	0.8	0.8									
	2	0.6	0.6	0.8								
	1	0.4	0.4	0.6	0.8							
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6						
小計		100						⑤				
コミュニケーション力	説明力、 プレゼンテーション力、 協調性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 他のメンバーによる補足説明も含め、説明が十分になされた。 			
			小計							100	⑤	
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書に提示された項目が、的確に実施された。 業務遂行段階での指示事項が、的確に実施された。 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注) 		
				目的の達成度							30	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、的確に取りまとめている。 分かりやすく簡潔で正確な文章表現である。 図表等の表現の工夫により、内容が簡潔で理解しやすい。 設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 		
				的確なとりまとめ							30	
ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスはなかった。 成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)、ミスも認められなかった。 必要書類も整備されていた。 照査報告書、チェックリスト等の品質管理の記録により、照査が実施され、品質の管理がされたことを確認できた。 				
		ミスの有無							30			
小計		100						⑤				

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の特性を考慮しつつ、新たなあるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。 (注)
	業務遂行段階における提案	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 <input type="checkbox"/> ・関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注)
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・当該業務で不足する課題が抽出された。 <input type="checkbox"/> ・検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
	業務内容等改善の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 <input type="checkbox"/> ・業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100						①	
プロセス評価 専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	細目数					<input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の目的、内容が理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。	
			チェック数	4	3	2	1		0
			4	1.0					
			3	0.8	0.8				
			2	0.6	0.6	0.8			
	1	0.4	0.4	0.6	0.8				
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6			
必要情報の把握	細目数					<input type="checkbox"/> ・業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 <input type="checkbox"/> ・業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。			
	チェック数	4	3	2	1		0		
	4	1.0							
	3	0.8	0.8						
	2	0.6	0.6	0.8					
1	0.4	0.4	0.6	0.8					
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
作業(業務)項目 作業(業務)手法	細目数					<input type="checkbox"/> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 <input type="checkbox"/> ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 <input type="checkbox"/> ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 <input type="checkbox"/> ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど難易度の高いものであった。(注)			
	チェック数	4	3	2	1		0		
	4	1.0							
	3	0.8	0.8						
	2	0.6	0.6	0.8					
1	0.4	0.4	0.6	0.8					
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
打合わせ資料の内容	細目数					<input type="checkbox"/> ・打合わせ資料に大きなミスがなかった <input type="checkbox"/> ・打合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> ・打合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 <input type="checkbox"/> ・適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。			
	チェック数	4	3	2	1		0		
	4	1.0							
	3	0.8	0.8						
	2	0.6	0.6	0.8					
1	0.4	0.4	0.6	0.8					
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
十分な技術力	細目数					<input type="checkbox"/> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 <input type="checkbox"/> ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 <input type="checkbox"/> ・新たな、あるいは高度な調査・解析等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注)			
	チェック数	4	3	2	1		0		
	4	1.0							
	3	0.8	0.8						
	2	0.6	0.6	0.8					
1	0.4	0.4	0.6	0.8					
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
小計	100						①		

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			優 標 準 劣						
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 契約締結後7日以内に作業(業務)工程表が提出され、速やかに作業(業務)着手がなされた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 業務実施方針又は詳細な工程表には、業務実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> 作業(調査、検討)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。	
		実施体制	10	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。 <input type="checkbox"/> 配置された担当技術者若しくは照査技術者は、業務内容に応じた技術者が配置され、適正に履行された。 <input type="checkbox"/> 業務計画書(業務組織計画)に示された実施体制は、本業務の履行に対して十分な体制であった。	
		打合せ内容の 理解、 記録	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 打合せ記録簿が、打ち合わせ後速やかに提出された。 <input type="checkbox"/> 打合せ記録簿の記載内容が打合せ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸案事項等が適切に整理されていた。 <input type="checkbox"/> 受注者内で意思疎通がなされ、指示や打合せ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> 打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ打合せ内容が理解された。	
		工程管理	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 指示や注意を行う必要のあるような工程の遅れや、履行期限内に納品されない恐れ等はなかった。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づく作業状況の報告、履行報告等を適切な時期に行っていた。 <input type="checkbox"/> 関連する他の業務や、工事等に影響を及ぼすことなく完了できた。 <input type="checkbox"/> 履行中のポイントとなる工程目標等も含め、全体を通して工程計画どおり完了できた。	
		小計	100					①	
	品質管理 能力	ミス防止の 実施	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> チェック方法に努力と工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> 品質管理のためのシステムが構築されている部署で作業業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)	
		小計	100					①	
	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の 変更	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> その結果生じた検討内容が特に優れていた。	
		関連事業者 間の調整	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特に良く取りまとめられていた。	
		地元住民との 合意形成	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				<input type="checkbox"/> 発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成(円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む)に係わる提案資料が作成された。 <input type="checkbox"/> 作成された資料の内容が特に良く取りまとめられていた。	
小計		100					①		

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優	標準	劣	1.0	0.8			0.6
プロセス評価	コミュニケーション力 説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
				理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				
		説明を補う努力	20			評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				
				円滑な業務遂行への努力	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				
		小計	100							
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しがなかった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた、もしくはトラブル等が発生した場合、迅速な対応が積極的になされた。
				小計	100					

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優				劣			
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル,多岐にわたる検討項目など,難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。注)	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						
		小計	100							①

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
	小計	100	③						
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ・当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
	小計	100	③						

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	作業(業務)項目 作業(業務)手法	50	細目数					<ul style="list-style-type: none"> ・検討項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ・採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 ・業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。 ・提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。(注)
				チェック数					
				4	3	2	1	0	
	4			1.0					
	3			0.8	0.8				
	2	0.6	0.6	0.8					
	1	0.4	0.4	0.6	0.8				
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6			
	十分な技術力					<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 ・業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注) 			
	チェック数								
4	3	2	1	0					
4	1.0								
3	0.8	0.8							
2	0.6	0.6	0.8						
1	0.4	0.4	0.6	0.8					
0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
小計		100	⑤						
コミュニケーション力	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・他のメンバーにより補足説明も含め、十分な説明がなされた。 	
			小計						100
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、的確に実施された。 ・業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 ・業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。(注)
				評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 ・分かりやすく簡潔で正確な文章表現である。 ・図表等の表現の工夫により、内容が簡潔で理解しやすい。 ・設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」								
	ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)ミスも認められなかった。 ・必要書類も整備されていた。 ・チェック方法に努力と工夫が見られ、品質管理の記録により、品質管理がされたことを確認できた。 	
			小計						100

注) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			標準							
			優				劣			
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」					①	<ul style="list-style-type: none"> 当該作業(業務)の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該作業(業務)の特性を考慮しつつ、新たなあるいは高度な調査・解析の手法・技術に関する提案がなされた。(注) 	
	業務遂行段階における提案	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。(注) 	
	業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 当該作業(業務)で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。 	
	業務内容等改善の提案	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 当該作業(業務)の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。 	
	小計	100								
業務執行技術力	目的と内容の理解	20	細目数					①	<ul style="list-style-type: none"> 業務(調査)計画書に必要事項が記載されていた。 当該作業(業務)の目的、内容が理解されていた。 業務(調査)計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該作業(業務)と関連する他の作業(業務)、事業が理解されていた。 	
			4 3 2 1 0							
			チェック数	4	1.0					
				3	0.8	0.8				
				2	0.6	0.6	0.8			
		1	0.4	0.4	0.6	0.8				
		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6			
必要情報の把握	20	細目数					①	<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)着手時点において、適切に資料等が整備された。 作業(業務)実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 作業(業務)遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 作業(業務)遂行段階で、当該作業(業務)に有意な情報が自主的に提供された。 		
		4 3 2 1 0								
		チェック数	4	1.0						
			3	0.8	0.8					
			2	0.6	0.6	0.8				
	1	0.4	0.4	0.6	0.8					
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
作業(業務)項目 作業(業務)手法	20	細目数					①	<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(業務)項目間の整合も図られていた。 提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど難易度の高いものであった。(注) 		
		4 3 2 1 0								
		チェック数	4	1.0						
			3	0.8	0.8					
			2	0.6	0.6	0.8				
	1	0.4	0.4	0.6	0.8					
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
打合わせ資料の内容	20	細目数					①	<ul style="list-style-type: none"> 打合わせ資料に大きなミスがなかった 打合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打合わせ資料に、作業(業務)を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。 		
		4 3 2 1 0								
		チェック数	4	1.0						
			3	0.8	0.8					
			2	0.6	0.6	0.8				
	1	0.4	0.4	0.6	0.8					
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
十分な技術力	20	細目数					①	<ul style="list-style-type: none"> 作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する) 作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。(注) 		
		4 3 2 1 0								
		チェック数	4	1.0						
			3	0.8	0.8					
			2	0.6	0.6	0.8				
	1	0.4	0.4	0.6	0.8					
	0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
小計		100								

注1) 考查基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
プロセス評価	工程管理 能力	実施手順、 工程計画	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・契約締結後7日以内に作業(業務)工程表が提出され、速やかに作業(業務)着手がなされた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務実施方針又は詳細な工程表には、作業(業務)実施上のポイントとなる工程目標等が具体的に示されていた。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)項目間の実施手順等が適切に計画されていた。
				実施体制	10	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				
		打合せ内容の 理解、 記録	20			評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				
				工程管理	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」				
		小計	100							
	品質管理 能力	ミス防止の 実施	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・チェック方法に努力と工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> ・品質管理のためのシステムが構築されている部署で作業(業務)が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。 (ex. ISO9001等の認証取得状況と成果への反映の確認)
				小計	100					
	迅速性、 弾力性、 調整能力	当初計画の 変更	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行中に生じた、当初工程計画や作業(業務)内容の変更要請、あるいは調査職員の指示等に迅速に対応した。 <input type="checkbox"/> ・その結果生じた検討(作業)の内容が特に優れていた。
				関連事業者 間の調整	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				
		地元住民との 合意形成	30			評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」				
小計				100						①

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優				劣		
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	コミュニケーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション(資料)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」		<input type="checkbox"/> ・日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 <input type="checkbox"/> ・資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。		
			理解しやすい説明・プレゼンテーション(対応)	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」		<input type="checkbox"/> ・打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 <input type="checkbox"/> ・質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 <input type="checkbox"/> ・一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 <input type="checkbox"/> ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。		
			説明を補う努力	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」		<input type="checkbox"/> ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 <input type="checkbox"/> ・他のメンバーにより補足説明も含め、説明が十分になされた。 <input type="checkbox"/> ・相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 <input type="checkbox"/> ・説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。		
			円滑な業務遂行への努力	20	評価項目チェック数 n=0⇒「0.6」 n=1⇒「0.8」 n=2⇒「1.0」		<input type="checkbox"/> ・密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。		
			小計	100			①		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」		<input type="checkbox"/> ・管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 <input type="checkbox"/> ・打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しが無かった。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 <input type="checkbox"/> ・業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた、もしくはトラブル等が発生した場合、迅速な対応が積極的になされた。			
		小計	100			①			

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目	
			優 標 準 劣							
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2			
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」					<input type="checkbox"/> ・設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 <input type="checkbox"/> ・高度な技術レベル,多岐にわたる検討項目など,難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注)	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<input type="checkbox"/> ・設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。 <input type="checkbox"/> ・理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。 <input type="checkbox"/> ・簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。 <input type="checkbox"/> ・設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
		ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						
		小計	100							①

注) 考査基準の巻末「参考:採点上の補足」を参照のこと。

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
			標準						
			優	標準	劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2		
プロセス評価	専門技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
		小計	100	③					
プロセス評価	取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」(基準点)、「0.8」、「1.0」を付与する。					<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ・企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> ・当該作業(業務)遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。 <input type="checkbox"/> ・作業(業務)遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、作業(業務)を完成させた。 <input type="checkbox"/> ・その他理由:
		小計	100	③					

評価項目	評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目		
			標準								
			優	標準			劣				
			1.0	0.8	0.6	0.4	0.2				
プロセス評価	専門技術力 業務執行技術力	作業(業務)項目 作業(業務)手法	50	細目数						<ul style="list-style-type: none"> ・作業(業務)項目は、特記仕様書等の設計図書の項目を満足していた。 ・採用された作業(業務)手法の技術的内容は、作業(業務)の目的に適合していた。 ・作業(業務)目的に照らし必要な作業(業務)項目が不足無く設定され、作業(業務)項目間の整合も図られていた。 ・提案された作業(業務)手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど難易度の高いものであった。注) 	
				細目数							
				4	3	2	1	0			
				チェック数	4	1.0					
					3	0.8	0.8				
		2	0.6	0.6	0.8						
		1	0.4	0.4	0.6	0.8					
		0	0.2	0.2	0.4	0.6					
	十分な技術力	50	細目数						<ul style="list-style-type: none"> ・作業(業務)に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 ・特記仕様書等に示された当該作業(業務)固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。(測量においては、作業に応じた機器等が配置されていたこともあわせて評価する。) ・作業(業務)遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 ・新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。注) 		
			細目数								
			4	3	2	1	0				
	チェック数	4	1.0								
		3	0.8	0.8							
		2	0.6	0.6	0.8						
		1	0.4	0.4	0.6	0.8					
		0	0.2	0.2	0.4	0.6	0.6				
	小計	100						⑤			
	コミュニケーション力 説明力、プレゼンテーション力、協調性	説明力、プレゼンテーション力、協調性	100	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する確かな回答がなされ、一般論と当該作業(業務)固有の議論が明確に区別されていた。 ・曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。 ・説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 ・他のメンバーにより補足説明も含め、十分な説明がなされた。 	
		小計	100						⑤		
結果評価	成果品の品質	目的の達成度	40	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書に提示された項目が、的確に実施された。 ・作業(業務)遂行段階での指示事項が、的確に実施された。 ・作業(業務)成果は、作業(業務)目的に照らし満足できる内容のものであった。 ・高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い作業(業務)に対し必要な作業(業務)成果が得られた。注) 	
		的確なとりまとめ	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書にある検討項目、作業(業務)遂行段階での指示事項を、的確に取りまとめている。 ・分かりやすく簡潔で正確な文章表現である。 ・図表等の表現の工夫により、内容が簡潔で理解しやすい。 ・設計図書にある事項、作業(業務)遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。 	
		ミスの有無	30	評価項目チェック数 n=0⇒「0.2」 n=1⇒「0.4」 n=2⇒「0.6」 n=3⇒「0.8」 n=4⇒「1.0」						<ul style="list-style-type: none"> ・成果品の品質に大きな影響を及ぼすような、重大なミスは無かった。 ・成果品の品質に大きく影響しない(簡易に修正できる)ミスも認められなかった。 ・必要書類等も整備されていた。 ・チェック方法に努力と工夫が見られ、品質管理の記録により、品質管理がされたことを確認できた。 	
		小計	100						⑤		

注) 考查基準の巻末「採点上の補足」を参照のこと。

参考:採点上の補足

採点表の評価細目で、“高度な技術レベル”“難易度の高い業務”の項目があるが、これに関しては「設計・コンサルタント業務等入札契約問題検討委員会 中間とりまとめ」に示される「知識」の高い業務かつ/又は「構想力・応用力」の高い業務を指す。以下、標準的な業務内容に基づいた例を示す。

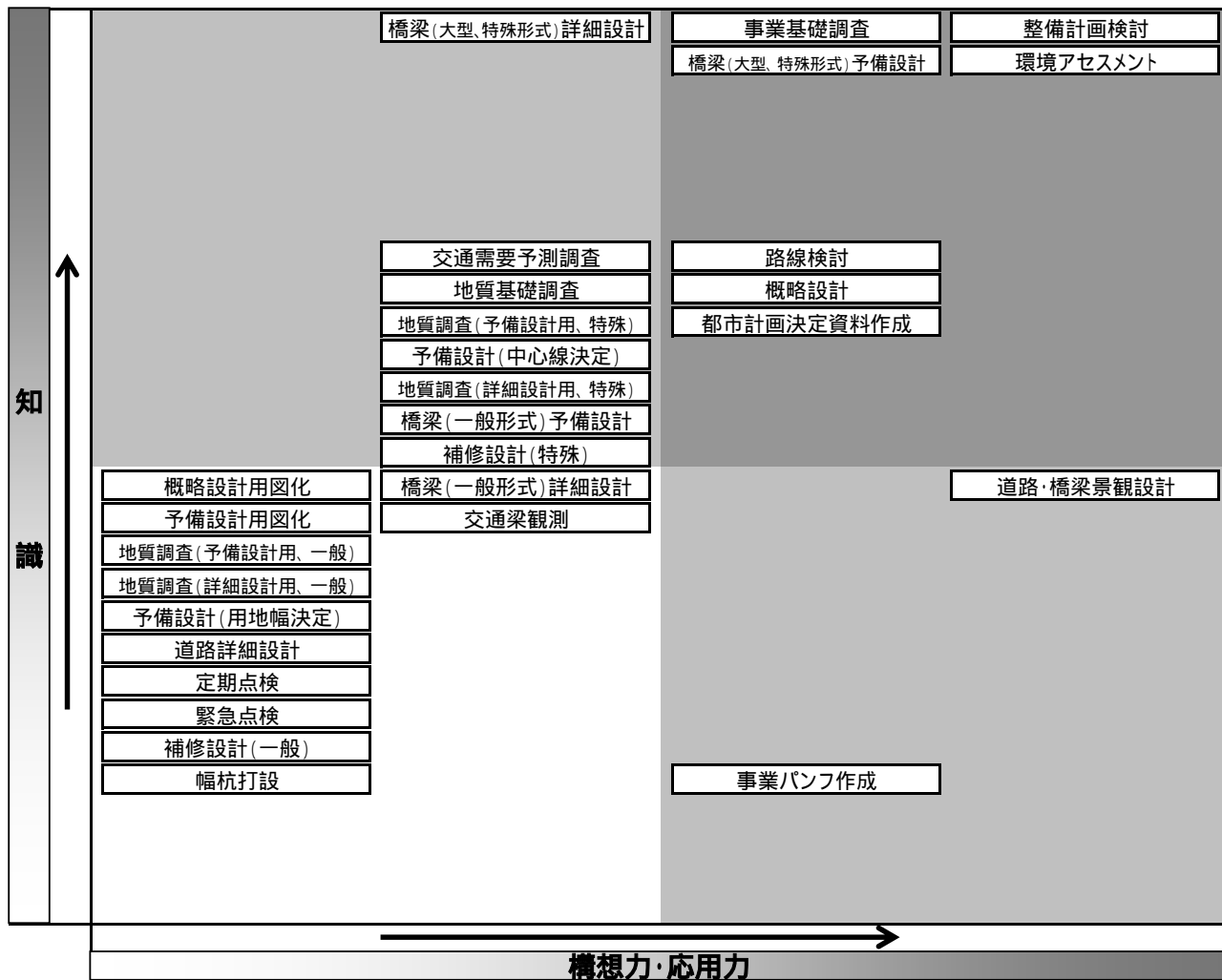
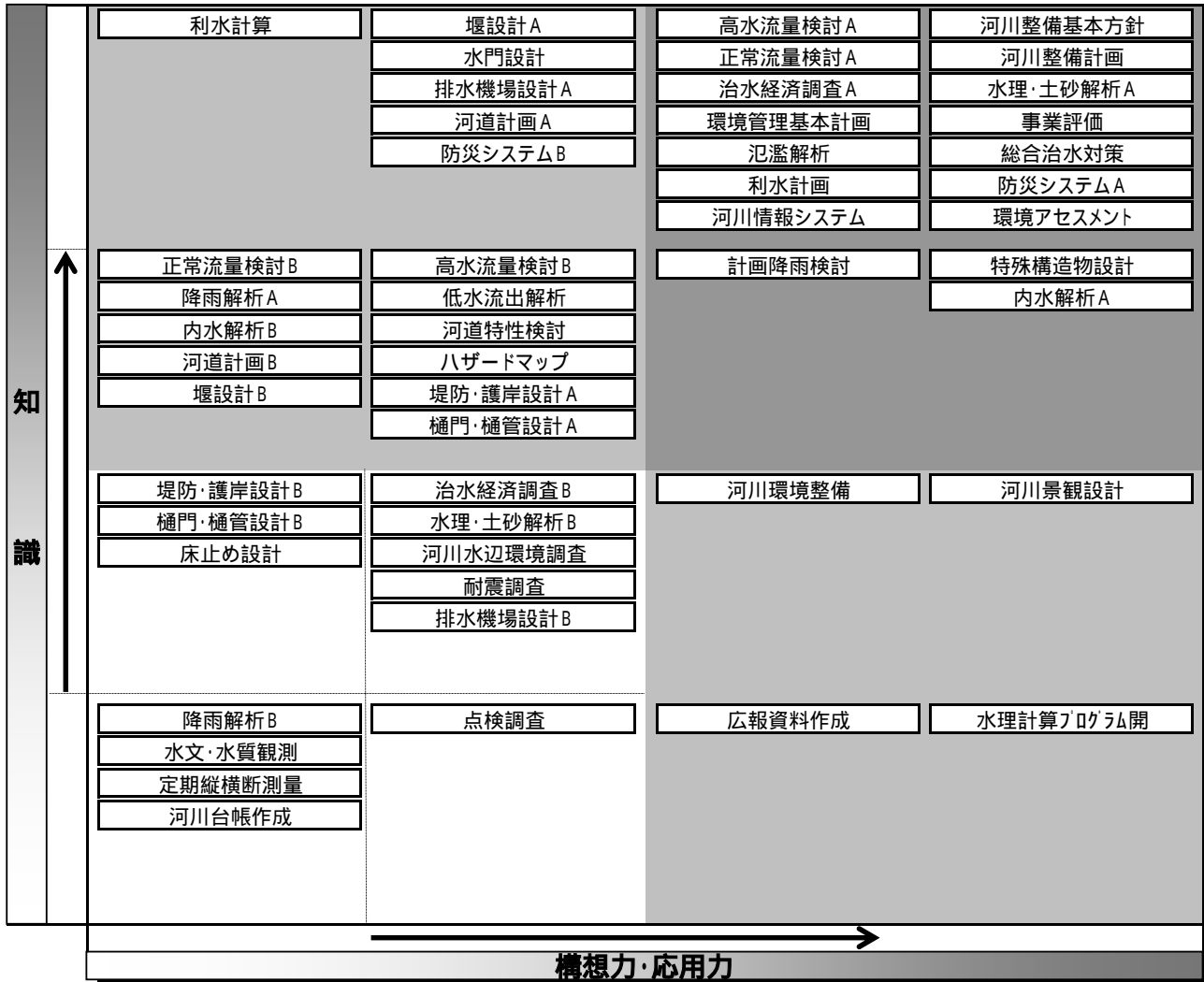


図 道路事業に係わる調査・計画・設計業務の例



注：A，Bは同種の業務における難易度の違いを表し、Aは難易度が大きいものである。

図 河川事業に係わる調査・計画・設計業務の例

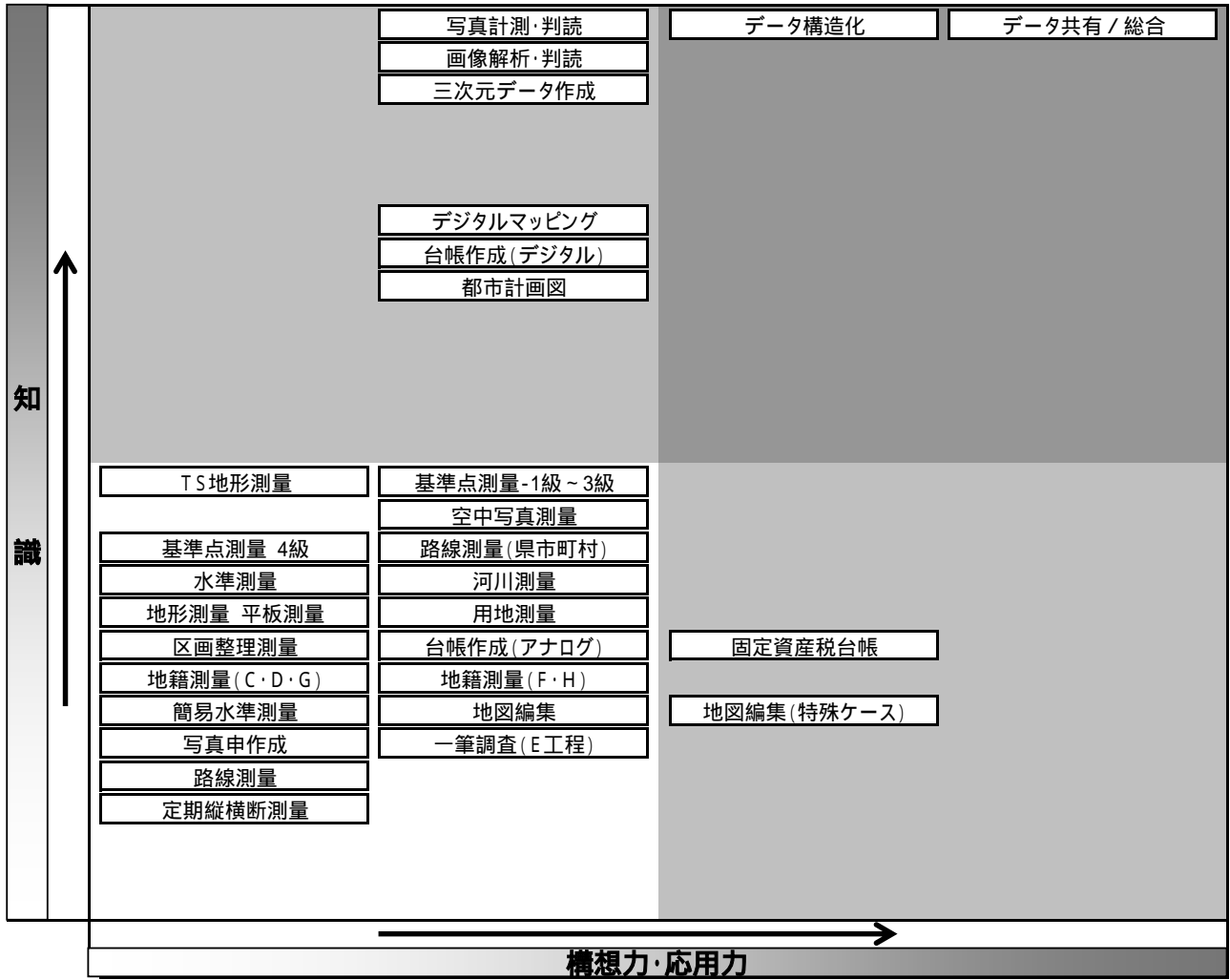


図 測量業務の例

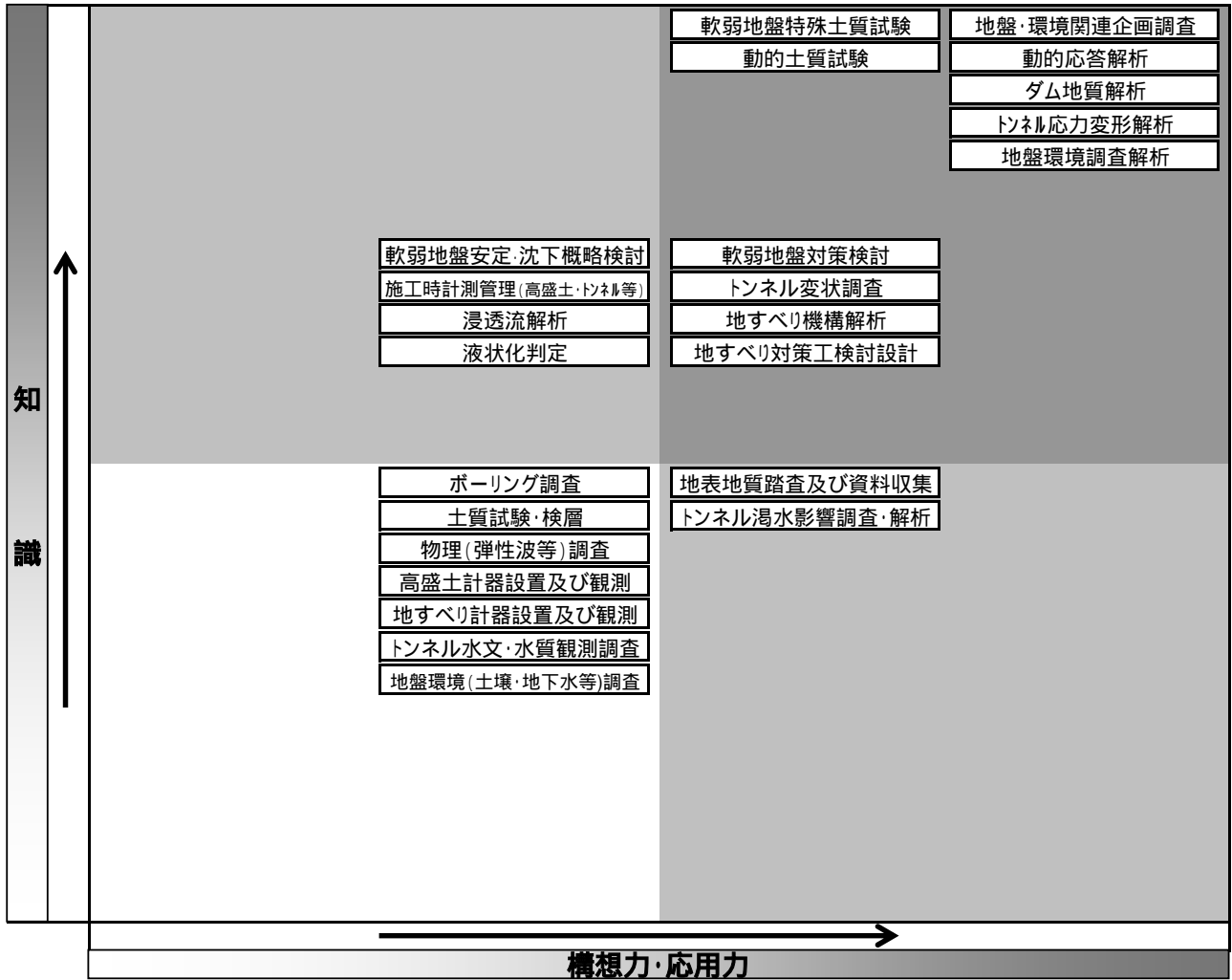


図 地質調査の例